インバウンドの「変化の兆し」をいち早く

都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：6 月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●7 月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 4)、**6 月の訪日外客総数(推計値)は 207 万 3,300 人**となり、コロナ禍の影響が表れ始めた 2020 年 2 月以降、**初めて 200 万人の水準を超えた**(5 月：189 万 8,900 人)。2019 年同月比では-28.0%と 5 月(同-31.5%)からマイナス幅は縮小。なお、**中国人客を除いた総数は** 186 万 4,800 人(同-6.7%)で、**コロナ禍前の 9 割超の回復**となっている。**4-6 月期**では 592 万 1,436 人となり、1-3 月期(479 万 543 人)から増加した。19 年同期比では-31.0%となり、**コロナ禍前の 7 割程度を回復**した。また、6 月の**出国日本人数は** 70 万 3,300 人となり、コロナ禍以降初めて 70 万人超の水準となった。19 年同月比では-53.8%となった。**4-6 月期**では 193 万 9,144 人となり、**コロナ禍前の 4 割程度を回復**した(19 年同期比-58.1%)。

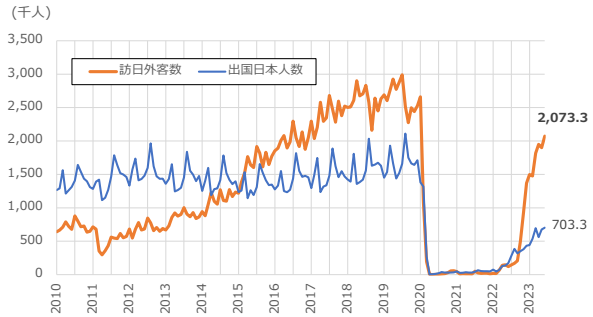
▶訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、**韓国が 54 万 5,100 人**(2019 年同月比-10.9%)**と最多であり、2 カ月連続で 50 万人超となった**。次いで台湾が 38 万 9,000 人(同-15.6%)、米国が 22 万 6,800 人(**同+29.2%**)、中国が 20 万 8,500 人(同-76.3%)、香港が 18 万 6,300 人(同-10.9%)と続く。米国は 4 カ月連続でコロナ禍前の水準を上回った(図 2 及び表 4)。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、4 月は 194 万 9,236 人**となった(2019 年同月比-33.4%)(図 3 及び表 5)。うち、**観光客は 173 万 8,172 人**となった(同-34.2%)。商用客は 8 万 4,679 人(同-38.3%)、その他客は 12 万 6,385 人(同-15.0%)であった。

▶観光客の TOP5 を国・地域別にみれば、4 月は韓国が **44 万 3,914 人**(2019 年同月比-14.9%)**と最多**であった。次いで台湾が 28 万 2,026 人(同-27.0%)、米国が 17 万 589 人(**同+15.3%**)、香港が 15 万 208 人(同-21.2%)、タイが 11 万 6,544 人(同-27.0%)と続く。米国に加え、シンガポール、インドネシア、メキシコやドイツがコロナ禍を上回った(表 5)。

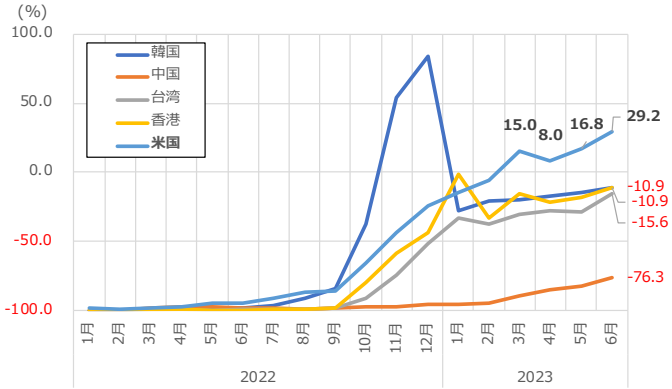
▶訪日外客の先行きについては、中国の団体旅行解禁の影響が気になるところである(8 月 10 日発表)。このため、これまで低調であった訪日中国人客の回復が見込まれよう。一方で日本の観光業における人手不足が課題となる。今後は訪日外客の受入れ体制の一層の強化が必要となろう。

図 1　訪日外客数及び出国日本人数の推移



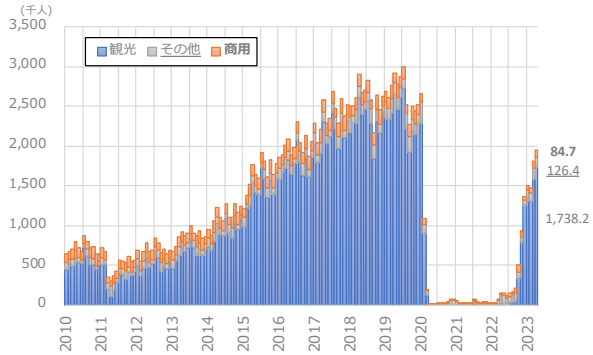
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2021 年まで確定値、22 年、23 年 1-4 月は暫定値、23 年 5-6 月は推計値

図 2　上位 5 カ国・地域 2019 年比の推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。
注) 韓国の 11-12 月の大幅増加は 19 年同月の日韓関係悪化の影響が含まれる。

図 3　目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から 2 カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020 年 11 月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●6 月関西の財貨・サービス貿易及び 5 月のサービス産業動向

▶**関西 6 月の輸出額**は前年同月比-7.1%と **2 カ月連続で減少**し、前月(同-6.4%)からマイナス幅は拡大した(図 4)。また、**輸入額**は同-15.5%と **3 カ月連続で減少**し、2 カ月連続で 2 桁のマイナスとなった(前月：同-13.3%)。輸出入ともに減少したが、輸入の減少幅が輸出のそれを大きく上回ったため、6 月の**貿易収支は**+2,772 億円となり、**5 カ月連続の黒字**。黒字幅は同+105.8%拡大した。結果、4-6 月期は+5,912 億円と 3 四半期連続の黒字となり、前年同期比+128.7%拡大した。

▶**対中貿易動向**をみると(図 5)、**関西 6 月の対中輸出**は前年同月比-9.3%と **2 カ月連続で減少**し、減少幅は前月(同-6.8%)から拡大した。輸出減に寄与したのは半導体等電子部品や非鉄金属等であった。また、**対中輸入**は同-16.9%と **2 カ月連続の減少**(前月：同-11.0%)。輸入減に寄与したのは通信機及び衣類及び同附属品等であった。結果、4-6 月期の対中輸出は前年同期比-4.8%と 2 四半期連続で減少した(前期：同-4.9%)。また、対中輸入は同-5.4%と 8 四半期ぶりに減少に転じた(前期：同+4.6%)。

▶**6 月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は** 55 万 2,492 人と、前月(50 万 1,210 人)から増加した**。2 カ月連続で 50 万人超え**となり、コロナ禍前の 7 割(2019 年同月比-27.9%)を回復した。**4-6 月期**では 152 万 5,597 人と、**コロナ禍前の 6 割強**(19 年同期比-33.2%)を回復し、16 年 4-6 月期(153 万 9,351 人)に次ぐ水準となった。また、日本人出国者数は 11 万 9,404 人と、2 カ月連続で 10 万人超えとなった(19 年同月比-59.6%)。4-6 月期では 31 万 8,620 人と、1-3 月期(27 万 1,726 人)から増加したが、依然回復のペースは緩やかである(19 年同期比-65.3%)。

▶**5 月のサービス業の活動は経済社会活動の正常化により改善した。**サービス業の生産活動を示す**第 3 次産業活動指数**(季節調整済み：2015 年平均=100)をみれば(図 7)、5 月は 102.0 で前月比+1.2%上昇し、**2 カ月連続のプラス**となった(前月：同+0.9%)。一方、対面型サービス業指数*は 94.6 で、同-1.1%低下し、2 カ月ぶりのマイナス(前月：同+2.8%)。うち、運輸業(同-4.7%、2 カ月ぶり)や宿泊業(同-1.6%、2 カ月ぶり)が低下に寄与した。

▶**観光関連指数****(2015 年平均=100)は、91.2 と前月比+2.4%上昇し、2 カ月連続のプラス(前月：同+0.2%)(図 7)。COVID-19 の行動制限が 5 月 8 日に撤廃されたこともあり、飲食店、飲食サービス業が同+8.7%と、3 カ月ぶりに上昇した(前月：同-1.7%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店，飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

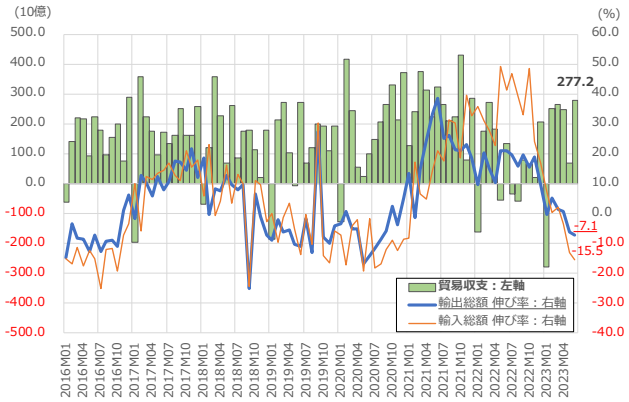
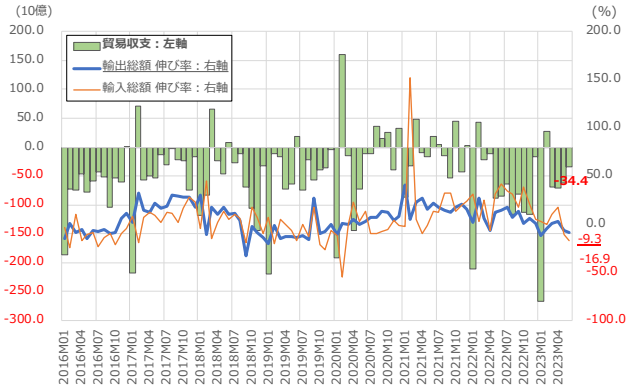
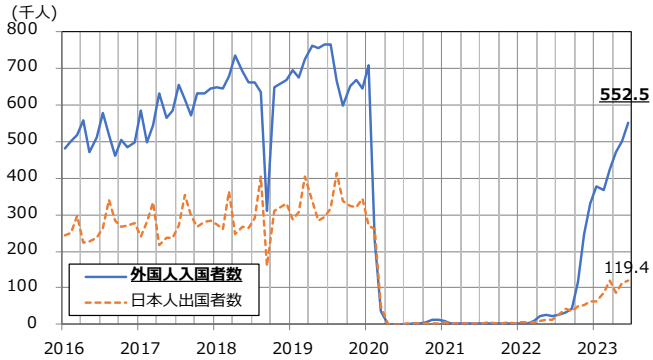


図 5 関西 対中貿易の推移



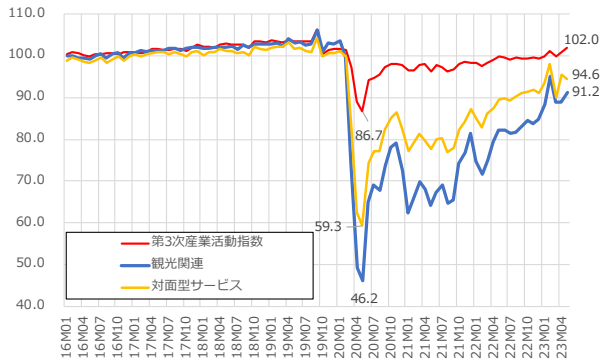
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図 6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2023 年 6 月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業：2015 年=100



出所：経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●4 月延べ宿泊者数の動向：関西 2 府 8 県

▶観光庁によれば、4 月の**関西 2 府 8 県の延べ宿泊者数**(全体)は 9,535.8 千人泊であった(表 1)。2019 年同月比では-14.6%と 4 カ月連続で減少し、前月(同-3.2%)から減少幅は拡大した。なお、7 月 28 日発表時に 2022 年 1-12 月の値が速報値から確報値に改訂されている。

▶日本人延べ宿泊者数は 6,779.6 千人泊となった。2019 年同月比-11.2%と 7 カ月ぶりに減少した(前月：同+4.5%)(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 2,340.5 千人泊、京都府 1,597.8 千人泊、兵庫県 1,052.8 千人泊、三重県 499.5 千人泊、滋賀県 331.1 千人泊、和歌山県 273.6 千人泊、福井県 189.5 千人泊、奈良県 177.4 千人泊、徳島県 162.9 千人泊、鳥取県 154.6 千人泊であった。2019 年同月比をみれば、各府県いずれも減少となった。

▶外国人延べ宿泊者数は 2,756.2 千人泊と前月(2,075.8 千人泊)から増加した。2019 年同月比-22.0%と減少幅は前月(同-25.3%)から縮小(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 1,305.6 千人泊、京都府 1,209.2 千人泊、兵庫県 102.3 千人泊、和歌山県 46.5 千人泊、奈良県 25.6 千人泊、三重県 22.3 千人泊、滋賀県 17.7 千人泊、徳島県 15.0 千人泊、福井県 6.9 千人泊、鳥取県 5.1 千人泊であった。2019 年同月比でみると、台湾からのチャーター便の増便もあり、**徳島県は同+13.8%と、2 カ月連連続でコロナ禍前を上回った**(前月：同+2.4%)。

▶関西 2 府 8 県延べ宿泊者を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 1,427.7 千人泊、県外は 7,824.4 千人泊であった。2019 年同月比をみれば、県内は同+2.7%と 19 カ月連続のプラスだが、前月(同+23.5%)から増加幅は縮小。また、県外は同-14.5%と前月(同-4.1%)から減少幅が拡大した。

図 8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

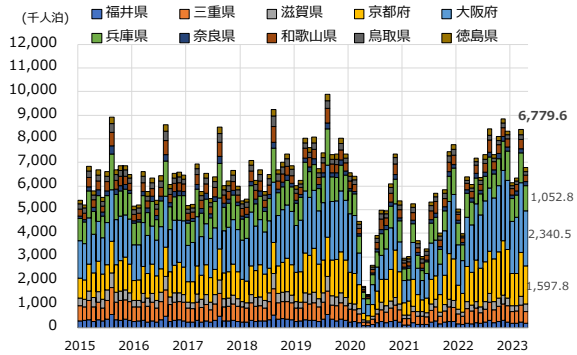


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

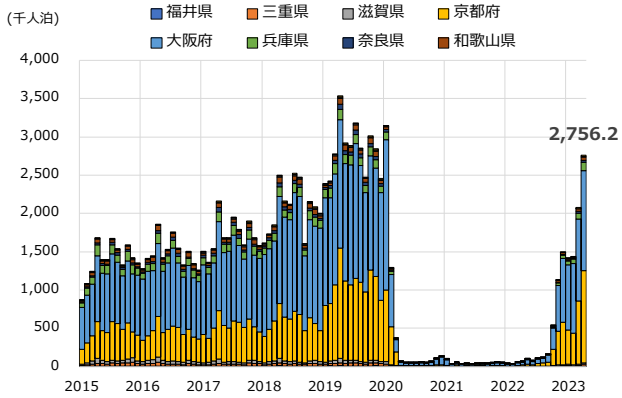
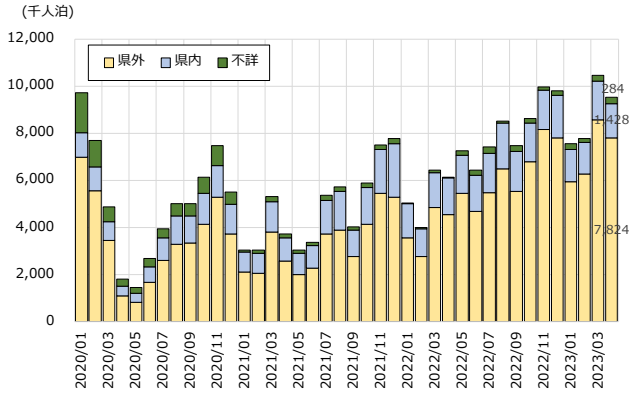


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1 関西 延べ宿泊者数伸び率：4 月

2023年4月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：4月(%)	19年比伸び率：3月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：4月(%)	19年比伸び率：3月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	19年比伸び率：4月(%)	19年比伸び率：3月(%)
福井県	196.4	-38.9	-26.0	189.5	-38.9	-25.9	6.9	-39.1	-35.5
三重県	521.8	-30.4	-8.0	499.5	-29.6	-5.9	22.3	-44.6	-59.5
滋賀県	348.8	-26.3	-12.2	331.1	-21.2	-7.3	17.7	-66.6	-58.5
京都府	2,806.9	-8.6	-0.1	1,597.8	-2.0	9.7	1,209.2	-16.0	-17.0
大阪府	3,646.1	-11.7	-1.0	2,340.5	-4.4	12.7	1,305.6	-22.3	-25.9
兵庫県	1,155.1	-5.7	-0.9	1,052.8	-3.8	4.2	102.3	-21.2	-46.5
奈良県	202.9	-25.1	-10.5	177.4	-13.5	-3.3	25.6	-61.2	-44.4
和歌山県	320.1	-31.6	-9.1	273.6	-28.8	-5.5	46.5	-44.3	-35.9
鳥取県	159.7	-32.1	-9.3	154.6	-29.6	-3.9	5.1	-67.2	-77.3
徳島県	178.0	-21.8	2.7	162.9	-24.0	2.7	15.0	13.8	2.4
関西2府4県	8,479.9	-12.0	-1.9	5,773.1	-6.6	7.5	2,706.8	-21.6	-24.6
関西2府8県	**9,535.8**	**-14.6**	**-3.2**	**6,779.6**	**-11.2**	**4.5**	**2,756.2**	**-22.0**	**-25.3**
全国	45,539.5	-10.2	-0.9	36,019.9	-8.7	3.6	9,519.6	-15.6	-20.7

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8～10 及び表 1)

トピックス 3

●2023 年 4-6 月期訪日外国人消費の動向

▶観光庁によれば、**2023 年 4-6 月期の訪日外国人消費額**(1 次速報、全目的ベース)は **1 兆 2,052 億円**であった(1-3 月期：1 兆 103 億円)(図 11)。2019 年同期比-4.9%と**コロナ禍前の 9 割を回復**した。同時期の訪日外客数が約 7 割の回復であるのを考慮すれば、消費単価は着実に上昇している。

▶訪日外国人消費のトップ 5 を国・地域別(その他を除く)にみれば(図 12)、台湾が 1,739 億円(2019 年同期比+23.0%)で最も多かった。次いで米国が 1,733 億円(同+83.6%)、中国が 1,515 億円(同-67.4%)、韓国が 1,429 億円(同+16.3%)、香港が 916 億円(同+2.1%)と続く。

▶**一般客 1 人当たり旅行支出**(全目的)は **20 万 4,509 円**となった。**2019 年同期比で+32.0%となり、2 四半期連続でコロナ禍前を上回った(1-3 月期：21 万 1,040 円、同+43.2%)**。国・地域別にみれば、英国が 35 万 8,888 円(同+51.2%)と最も高い。次いで、中国が 33 万 8,238 円(同+50.9%)、オーストラリアが 33 万 7,070 円(同+44.4%)、フランスが 32 万 7,897 円(同+35.3%)、ドイツが 32 万 6,781 円(同+64.4%)となっている(表 2)。

▶**一般客 1 人 1 泊当たり旅行支出をみれば**、2 万 487 円となり、**2019 年同期比+5.4%増加**した。費目別では、宿泊費、飲食費、交通費、娯楽等サービス費、その他がいずれも増加した。一方、買い物代は同-25.9%低下した。**コロナ禍以降、モノ消費からコト消費へと訪日外客の嗜好が変化**しつつある(表 3)。

*トピックス 3 は四半期ごとの掲載である。

**「全目的」とは、観光・レジャー目的以外に、業務、留学、親族・知人訪問等の目的の旅行者を含む。ただし、1 年未満の滞在者が対象である。

図 11 訪日外国人消費額の推移

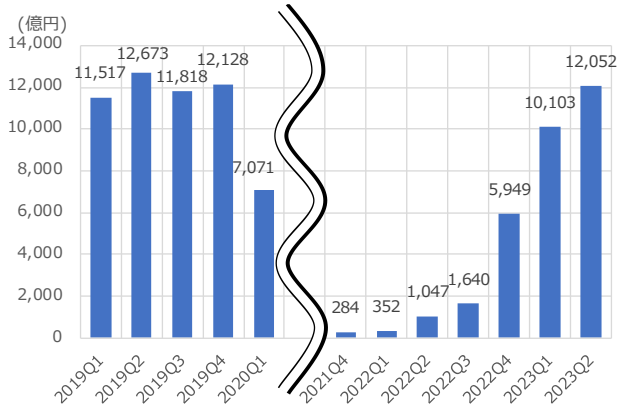
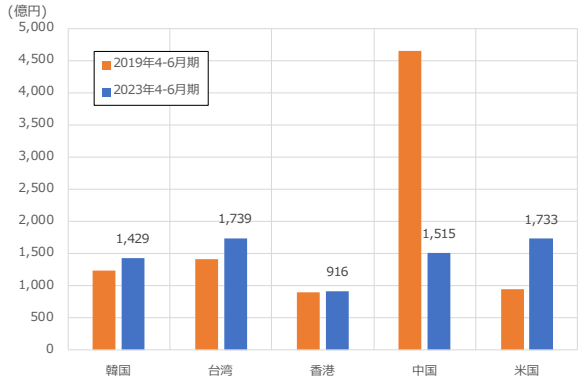


図 12 訪日外国人消費額の上位 5 か国・地域：2023 年 4-6 月期



(注)「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加えビジネス目的や親族･知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。「クルーズ客」は船舶観光上陸許可者。2019 年は確報、23 年 4-6 月期は速報。
出所:観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成(上図も同様)

表 2 国・地域別一般客 1 人当たり旅行支出(全目的)：2023 年 4-6 月期

国･地域	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム
2019年4-6月期(円/人)	154,967	69,102	119,157	153,700	224,174	134,466	170,424	135,146	134,645	119,187	159,242
2023年4-6月期(円/人)	204,509	94,205	176,801	185,593	338,238	189,901	275,807	204,210	188,852	166,459	173,485
19年同期比(%)	+32.0	+36.3	+48.4	+20.8	+50.9	+41.2	+61.8	+51.1	+40.3	+39.7	+8.9
国･地域	**インド**	**英国**	**ドイツ**	**フランス**	**イタリア**	**スペイン**	**ロシア**	**米国**	**カナダ**	**オーストラリア**	**その他**
2019年4-6月期(円/人)	164,917	237,353	198,760	242,437	207,203	217,993	162,463	189,064	187,975	233,424	178,160
2023年4-6月期(円/人)	202,738	358,888	326,781	327,897	318,401	269,635	-	291,946	268,089	337,070	308,463
19年同期比(%)	+22.9	+51.2	+64.4	+35.3	+53.7	+23.7	-	+54.4	+42.6	+44.4	+73.1

表 3 一般客 1 人 1 泊当たり旅行支出(全目的)：2023 年 4-6 月期

1 人 1 泊当たり旅行支出	総額	費目別						平均泊数(泊)
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2019Q2(円/人)	19,438	5,711	4,158	1,956	639	6,971	3	8.0
2023Q2(円/人)	20,487	7,170	4,916	2,446	786	5,164	3	10.0
19年同期比(%)	5.4	25.5	18.2	25.1	23.0	-25.9	10.8	25.2

(注)国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もある。
出所：観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成。

表 4 2023 年 6 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対 2019 年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	6月	6月		1-6月	1-6月	
総数	2,880,041	2,073,300	-28.0	16,633,614	10,712,000	-35.6
総数(中国除く)	1,999,390	1,864,800	-6.7	12,101,149	10,117,400	-16.4
韓国	611,867	545,100	-10.9	3,862,658	3,128,500	-19.0
中国	880,651	208,500	-76.3	4,532,465	594,600	-86.9
台湾	461,085	389,000	-15.6	2,480,849	1,770,600	-28.6
香港	209,030	186,300	-10.9	1,097,889	909,700	-17.1
タイ	62,984	51,300	-18.6	683,595	497,700	-27.2
シンガポール	47,264	54,600	15.5	214,083	252,700	18.0
マレーシア	30,534	22,000	-27.9	237,929	194,200	-18.4
インドネシア	49,290	39,300	-20.3	215,873	201,700	-6.6
フィリピン	46,842	54,200	15.7	295,120	277,100	-6.1
ベトナム	35,419	38,900	9.8	253,247	301,000	18.9
インド	15,359	14,200	-7.5	92,940	79,400	-14.6
豪州	37,283	42,400	13.7	326,906	274,700	-16.0
米国	175,491	226,800	29.2	875,124	972,200	11.1
カナダ	25,402	30,000	18.1	183,769	183,300	-0.3
メキシコ	5,676	6,800	19.8	31,624	35,000	10.7
英国	25,801	20,400	-20.9	185,698	150,100	-19.2
フランス	21,317	17,700	-17.0	160,310	122,200	-23.8
ドイツ	15,697	13,700	-12.7	118,479	106,700	-9.9
イタリア	11,357	10,200	-10.2	74,768	59,300	-20.7
スペイン	9,762	8,700	-10.9	51,422	39,600	-23.0
ロシア	8,844	2,400	-72.9	55,940	16,200	-71.0
北欧地域	12,808	11,400	-11.0	72,345	53,100	-26.6
中東地域	7,747	9,100	17.5	46,070	51,900	12.7
その他	72,531	70,300	-3.1	484,511	440,500	-9.1

表 5 2023 年 4 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対 2019 年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	4月	4月		4月	4月		4月	4月		4月	4月	
総数	2,926,685	1,949,236	-33.4	2,640,569	1,738,172	-34.2	137,353	84,679	-38.3	148,763	126,385	-15.0
韓国	566,624	466,987	-17.6	521,904	443,914	-14.9	28,345	13,117	-53.7	16,375	9,956	-39.2
中国	726,132	108,295	-85.1	647,544	57,792	-91.1	27,128	18,027	-33.5	51,460	32,476	-36.9
台湾	403,467	291,564	-27.7	386,461	282,026	-27.0	9,702	5,674	-41.5	7,304	3,864	-47.1
香港	194,806	152,819	-21.6	190,540	150,208	-21.2	2,995	1,473	-50.8	1,271	1,138	-10.5
タイ	164,817	121,022	-26.6	159,604	116,544	-27.0	2,647	1,844	-30.3	2,566	2,634	2.7
シンガポール	36,704	41,982	14.4	33,387	39,950	19.7	2,990	1,801	-39.8	327	231	-29.4
マレーシア	46,092	40,244	-12.7	42,857	38,491	-10.2	2,209	1,053	-52.3	1,026	700	-31.8
インドネシア	39,768	48,667	22.4	34,327	41,003	19.4	1,942	812	-58.2	3,499	6,852	95.8
フィリピン	69,266	62,794	-9.3	62,010	54,006	-12.9	2,215	4,154	87.5	5,041	4,634	-8.1
ベトナム	55,295	55,193	-0.2	25,092	24,609	-1.9	3,407	2,808	-17.6	26,796	27,776	3.7
インド	18,376	16,272	-11.4	11,410	10,085	-11.6	4,288	3,628	-15.4	2,678	2,559	-4.4
豪州	70,504	56,123	-20.4	66,968	53,918	-19.5	2,491	1,553	-37.7	1,045	652	-37.6
米国	170,247	183,893	8.0	148,005	170,589	15.3	17,540	10,107	-42.4	4,702	3,197	-32.0
カナダ	38,897	36,847	-5.3	36,313	35,398	-2.5	1,763	893	-49.3	821	556	-32.3
メキシコ	8,222	9,328	13.5	7,699	8,937	16.1	273	198	-27.5	250	193	-22.8
英国	44,537	36,527	-18.0	39,068	33,379	-14.6	3,936	2,164	-45.0	1,533	984	-35.8
フランス	46,005	34,421	-25.2	41,140	31,499	-23.4	3,410	1,892	-44.5	1,455	1,030	-29.2
ドイツ	27,829	27,362	-1.7	23,063	24,191	4.9	3,881	2,492	-35.8	885	679	-23.3
イタリア	24,062	15,619	-35.1	22,069	14,223	-35.6	1,475	975	-33.9	518	421	-18.7
ロシア	13,787	4,421	-67.9	11,043	3,046	-72.4	2,010	850	-57.7	734	525	-28.5
スペイン	13,858	8,302	-40.1	12,813	7,603	-40.7	643	435	-32.3	402	264	-34.3
中東地域	13,352	13,814	3.5	11,969	12,920	7.9	853	521	-38.9	530	373	-29.6
その他	134,038	116,740	-12.9	105,283	83,841	-20.4	11,210	8,208	-26.8	17,545	24,691	40.7

注) 目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2023 年 7 月 19 日付より筆者加工